

No 35  
31 Jul. 2012

日本・パプアニューギニア協会会報

ごらくちよう

Bird of Paradise

発行 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会

発行日 発行日 平成 24 年 7 月 31 日

編集 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会広報部 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-6-10 大橋ビル1階 コスモメディア(株)内 TEL03-5604-8611 FAX03-5604-8613

## ピーター・オニール 首相 来日 中止

日本・パプアニューギニア協会会長

山下 勝男

5月25日、26日に沖縄で開催された第6回太平洋・島サミットに参加予定でした、ピーター・オニール首相は、ポートモレスビー出発の前日に、憲法裁判所より首相の資格についての判決があり、その対応のため今回の島サミットには急遽参加されないこととなりました。

PNGとしての島サミットへの参加は、ドゥサバ大使がオニール首相を代行されましたので、みなさんも報道等で大使のご活躍をご覧になられことと思います。

オニール首相の来日中止により、協会主催の来日歓迎レセプションも急遽開催を中止いたしました。ご参加を予定されていた皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしました。この場を借りましてお詫び申し上げます。前日の中止ということもあり、キャンセル料などの支出がかさみましたが、在日PNG大使館より、それらの支出に対してサポートをいただくこととなりました。財政が厳しい協会にとっては、非常にありがたいお申し出であり、感謝を持ってお受けすることといたしております。

さて、島サミットはでは「We are Islanders: 広げよう太平

洋のキズナ」をキャッチフレーズに、今後の3年間に向け(1)自然災害への対応、(2)環境・気候変動、(3)持続可能な開発と人間の安全保障、(4)人的交流、(5)海洋問題、という協力の5本柱を策定されています。この5本の柱に対して、今後3年間で5億ドルの援助が日本政府より約束されました。

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/ps\\_summit/palm\\_06/gaiyo.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/ps_summit/palm_06/gaiyo.html) (詳細)

今回PNG首相の参加が中止になったことから、日本政府は、PNGの総選挙後、新政府が樹立しました後に、新PNG首相を日本へ招待するとのことですので、我々協会としましても、再度来日歓迎会を開催する予定でございます。

その際には一人でも多くの会員の皆様にお集まりいただければと思います。

今回のレセプションの中止により皆様に多大なご迷惑をお掛けしたことに對し改めてお詫び申し上げるとともに、今後の協会の諸事業の実施に当たり、引き続き皆様のご協力、ご支援をお願い申し上げます。



# PNG・南太平洋島嶼国の発展と生物多様性保護をめざして

唐沢 敬

本協会副会長・南太平洋生態系保全学術懇談会執行顧問



本年3月31日、パプアニューギニア等南太平洋島嶼諸国の経済社会発展と生態系・生物多様性保護について話合う国際ワークショップが南太平洋生態系保全学術懇談会の主催で東京・神田の中央大学駿河台記念館で開催されました。これにはPNG本国から、C.カラウィンPNG大学教授、J.モギーナMGCTF専務理事、M.ボニ・エコ・フォーレストリー・プログラム・マネージャー、伊藤明德PNG教育省基礎教育アドバイザー等4人の専門家が招かれ、パプアニューギニアの経済社会開発と生物多様性の保護について日本側専門家・参会者と活発な議論を行いました。

よく知られているように、パプアニューギニアは豊かな自然と動植物の宝庫で、極楽鳥など貴重な鳥類700種、木登りカンガルーやクスクスなど有袋動物60種、さらに、3000種を超える動植物が生息すると云われています。同様に、他の太平洋島嶼諸国も豊かな生態系をもち、これを基礎に伝統や文化、生活を護り、発展させてきました。しかし、近年、急速なグローバル化や開発の進行で生態系が崩れ、気候変動による海面上昇、自然災害、人口増加による食糧不足等の困難に遭遇、どの国もその解決に苦勞しています。

南太平洋生態系保全学術懇談会は国内の大学、研究所、企業、NGO/NPO等で働く研究者や実務家の組織ですが、南太平洋諸国が直面しているこうした状況を直視し、同地域の人たちと一緒に汗を流すことを目的に10年前に設立されました。今回の国際ワークショップは同懇談会がコスモ石油・エコカード基金の助成により実施したもので、パプアニューギニアの社会経済開発と生態系・生物多様性保護に関し、日本とパプアニューギニアの専門家が率直に意見や情報を交換し、社会の発展に役立てることを目的にいました。

駐日パプアニューギニア大使館、日本パプアニューギニア協会、コスモ石油エコカード基金の後援の下、G.ドゥサバ大使をはじめとする駐日PNG大使館の方々、JPNG協会、コスモ石油エコカード基金、日本PNG友好議員連盟その他組織の代表者・個人など80余名の人々が参会、それぞれ関心のある問題について率直に意見や知識を交換、共通の課題を確認することができました。本ワークショップの開催を機会に、日パ両国の新たな友好と協力の関係が発展することを願ってやみません。





# 第1回 Kivung Bona Toktok on PNG

当協会副会長 鈴木 紀久代

「協会の方と顔を合わせていろいろお話がしたい!!」ということで、企画した第1回PNG談話室(仮名)を何とか4月27日に開催にこぎつけることができました。何しろ初めてのことなので「参加者が少なくても、開くことに意義がある」と見切り発車したのですが、予想をはるかに上回る37名の方々の御参加をいただきました。これを機会に新規会員も2名増えたということで、反省点も多々ありますが、まずは、大成功と自画自賛しております。

第1回ということもあり、会場を大使館にしたのですが、「せっかく大使館に集まるのだから」というドゥサバ大使の御好意により、<PNGコーヒーを飲みながら気軽に>の予定が豪華な飲食つきの会合になりました。また、会員のB&B社の御紹介により、コーヒーロースト社の販売するPNGコーヒーを格安で分けていただき、参加者のお土産にすることができました。また、大使にはこの会合の命名もお願いしました。

その名が、Kivung Bona Toktok on PNG です。

Kivungはトウライ語で<集まる>を意味し、Bonaは、モツ語



で<そして>、Toktokはピジン語で<話す>、on PNGは英語で<PNGについて>という意味です。多言語国家のPNGらしい名前を付けていただきました。良い名をいただいたからには、この名に恥じないよう<皆で集まり、そしてパプアニューギニアについて語り>しましょう。

第1回目は、それぞれの自己紹介で終わってしまいましたが、参加した方々とPNGの関係を知ることができ意義深かったと思います。2回3回と回を重ねて、もっと会員同士の輪を広げていけたら良いなあと考えています。2回目は、夏にビアホールで熱くPNGについて語るのはいかがでしょうか。または、おいしいPNGコーヒーを味わいながら各自のベストショットを持ち寄ってPNGでのエピソードを語るのも良いですね。将来的には、ゲストを招いても良いでしょう。「ぜひ、私に話をさせてくれ」という方も大歓迎。

第1回に参加、または協力してくださった方々、ありがとうございました。今回参加できなかった方は、ぜひ次回に御期待ください。



日本・パプアニューギニア協会  
法人会員紹介 第28回

「みなさん、こんにちは」  
コスモメディア株式会社です。

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里  
5-6-10 大橋ビル1階  
TEL03-5604-8611  
FAX03-5604-8613

この度、本年4月より、本協会の事務局をさせて戴く事となりました。私の祖父が先の大戦でニューギニア島で戦死しており、パプアニューギニアには深いご縁を感じております。

弊社は通信事業者のため、以前の事務局のような立派な場所ではありませんが、お預かりいたしましたPNG関係の資料の閲覧等は出来るようになっておりますので、お近くにお越しの際には、ぜひ、お立ち寄りいただけますよう、お願い申し上げます。

JR、地下鉄千代田線 西日暮里駅から徒歩2分程度です。

今日現在は、まだ、引越の荷物でいっ

ぱいですが、本号が発行される頃には綺麗になっている？はずです。

弊社は、元々インターネットサービスプロバイダで、個人・企業のインターネット接続やメール・ホームページのお手伝いをさせていただいている会社ですが、2年前より、遠隔操作による各種パソコンのサポート業務を開始しております。

そのような中、事務局長より、とても、興味深い提案がありました。それは、遠隔操作であれば、海外や離島などでパソコンの不調などで困っている会社や個人にも有効ではないかと言うものです。そこで、早速、在パプアニューギニア日本企業や個人の方のパソコン遠隔サポートの模索をはじめました。インターネットにさえ接続ができていれば、メールの送受信の問題をはじめ、ちょっとしたパソコンの不具合などもすべて遠隔操作での改修サポートが可能になります。弊社では、日本・パプアニューギニア間のこの遠隔サポートを通じて、更に日本とパプアニューギニアの間の交流がスムーズになる事で、当協会設立の目的である「相互理解を深め、

両国民の友好協力の促進」の一助となるよう頑張っておりますので、皆様の応援を宜しくお願い申し上げます。会員の皆様の中で、パソコンでお困りの事がございましたら、お気軽にご相談いただきたくお願い申し上げます。会員特典をご用意してお待ち申し上げます。

コスモメディア株式会社

代表取締役社長 村越裕之

事務局で閲覧できる資料の一部



## 編集後記

本号の発行が大幅に遅れましたこと、まず深くお詫び申し上げます。

協会の事務局が移動したこと、PNG首相の歓迎パーティーの準備とキャンセル、そして理事会、総会の準備などが

重なったことが原因ではありますが、本来それらも考慮して、スケジュールを立てなければならなかったと、大いに反省をいたしております。

次号は理事会、総会のレポート、PNG総選挙の結果などを予定いたしております。

もちろん速報は、メールマガジンでご案内いたします。

最後になりましたが、みなさまに本年度の年会費のお振り込みを頂きまして誠にありがとうございます。これからも協会をよろしく願いいたします。

(KS)

## 日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。  
会員数 2012年5月末 \*法人会員/26 \*個人会員/151

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、学術、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

申し込み方法 / 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。  
年会費 / 個人会員 5,000円 法人会員 50,000円 学生 1,000円 PNG人 1000円

会費受付 / 郵便振替口座をご利用ください。

口座記号 / 番号 00140-2-277582

加入者名 / 日本・パプアニューギニア協会

問い合わせ先 / 日本・パプアニューギニア協会 事務局

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-6-10 大橋ビル1階 コスモメディア(株)内  
電話 03-5604-8611 FAX 03-5604-8613 E-mail : info@jpng.or.jp